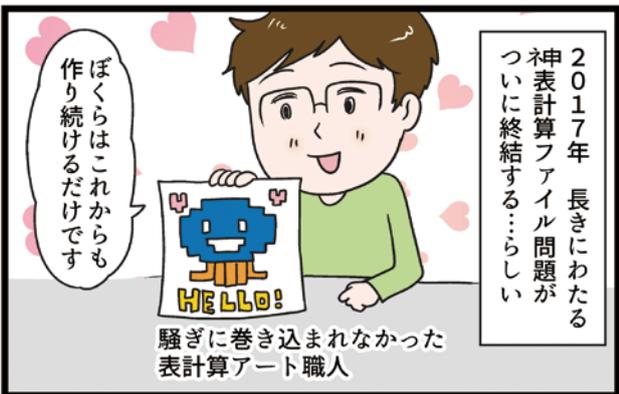
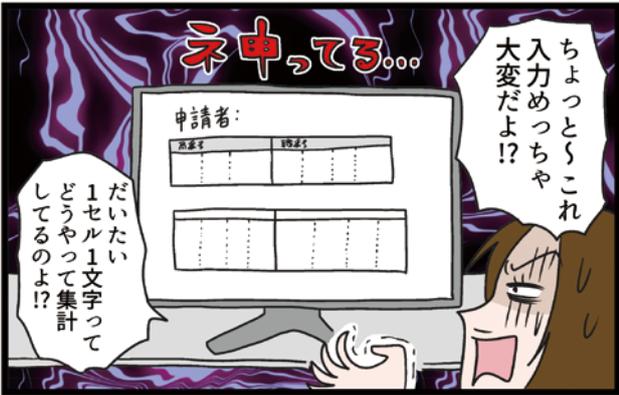


# IT日和

イラスト 山本コウカ

## vol.22 ネ申表計算ファイル



## App Store アプリのお知らせ

アプリをダウンロードすると iPad, iPhone, iPod Touch といった iOS 端末から読むことができます！



会誌「情報処理」



デジタルプラクティス

アプリのダウンロードはこちら (無料)

デジタル  
会誌「情報処理」プラクティス



## 情報処理学会 会員募集中!!

ITに関する最新情報や研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます



詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

お問合せ

一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

# 2017 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ募集のお知らせ

会誌編集委員会  
デジタルプラクティス編集委員会

会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」をより良くするために編集委員一同努力を続けておりますが、会員の方々の評価や希望をうかがい、今後の改善に役立てるために、モニタ制度を設けております。関心のある方はぜひふるってご応募ください。

応募の資格 本会員で、モニタの役割を積極的に果たしていただける方。

モニタの役割 「情報処理」巻末の所定用紙または学会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) から、毎月アンケートに回答する。  
◇記事に対する評価 ◇記事に対する感想 ◇意見 ◇記事テーマの提案 ◇そのほか全般的な意見・提案など  
注) 記事をすべて読むといったことは必ずしも必要ではありません。自分の立場や問題意識、得意とする分野などを基準とした「独断と偏見による」自由な意見を期待します。

期 間 原則として 1 年間 (2017 年 4 月～2018 年 3 月)。\*最長 3 年までとします。

対 象 号 会誌「情報処理」58 巻 5 号～59 巻 4 号、および年に 4 回 Web ページ (<https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/>) にて公開される「デジタルプラクティス」(電子版のみ)。

謝 礼 貴重なご意見をいただいた方には薄謝または記念品を贈呈します。

募集人員 特に定めませんが、応募者数によっては当委員会で調整させていただくことがあります。

応募締切 **2017 年 2 月 28 日 (火) 必着**

\*申込書を Fax するか、または E-mail でお申し込みください。

\* Web ページ (<https://www.ipsj.or.jp/magazine/topics/2017monitor.html>) でも受け付けています。

そ の 他 ジュニア会員で、会誌 (冊子体) の送付を希望される方には、モニタ期間中会誌を送付いたします (先着 10 名)。希望する場合は、申込書の要望欄に「会誌送付希望」とお書きください。

申込/照会先 情報処理学会 会誌編集部門 (モニタ係)

## 2017 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ申込書

宛先: 情報処理学会 会誌編集部門 (モニタ係) E-mail: [editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp) Fax(03)3518-8375

氏 名

会員番号 ( )

住 所 〒

所 属

E-mail:

Tel ( ) -

Fax ( ) -

年 齢 ( 歳)

業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (小・中・高校・高専・大学・大学院など)  
(e) 学生 (f) 学生 (ジュニア会員) (g) その他

職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務 (f) 会社経営・役員・管理職  
(g) 教職員 (小・中・高校・高専・大学・大学院など) (h) 学生 (i) 学生 (ジュニア会員) (j) その他

要望, コメントなど:

## 各賞表彰(概要)

詳細は Web サイト ([http://www.ipsj.or.jp/award/sho\\_index.html](http://www.ipsj.or.jp/award/sho_index.html)) をご覧ください

### 2016年デジタルプラクティス論文賞の表彰

デジタルプラクティスの目的は、ICT実務の現場での実践やそこから生み出される知見を広く社会全体で公開共有し再利用することです。この目的に最もかなう論文を1年に1編選び「デジタルプラクティス論文賞」を贈呈しております。

本年の受賞者は、2016年に発行されたデジタルプラクティス Vol.7, No.1～No.4の全44編(招待、一般投稿)の中から、表彰規程およびデジタルプラクティス論文賞選定手続きに基づき、吉野松樹編集委員長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認(2016年12月21日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる)を得て、決定いたしました。

受賞者には、本会表彰規程により、2月3日に開催されたソフトウエアジャパン2017において、表彰状および賞金が授与されました。



- 浪江町におけるタブレットを利用したきずな再生・強化事業  
—住民参加型の課題定義から開発プロセスまで—  
関 治之君

### IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか？

広告を IPSJ メールニュースで配信しています。本会会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

- 配信数：約 29,000 通 (原則毎週月曜日配信)
- 読者層：本会会員および非会員
- 形式：テキストのみ。等幅半角 70 字× 5 行。URL を入れてください。
- 掲載位置：ヘッダ (目次の上)  
フッタ (本文の最下行)
- 掲載料：ヘッダ：1 回 50,000 円 (税込 54,000 円) ※ 3 社限定  
フッタ：1 回 20,000 円 (税込 21,600 円)  
※それぞれ行数超過については別途相談
- 申込先：[広告代理店]  
アドコム・メディア (株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp  
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519  
または、情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371
- 申込締切：毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。
- 見本：

— [広告] —

■■■■ ○○セミナー ■■■■

開催日時：1月10日(火)・11日(水)・12日(木) 13:00～17:00

会場：○○コンベンションセンター

会費：情報処理学会会員の方には割引があります。

詳細はこちらをご覧ください：<http://www.....com/>

— [広告] —

# ご寄付のお願い

情報処理学会は、情報処理に関する学術および技術の振興をはかることにより、学術、文化ならびに産業の発展に寄与することを目的に各種事業を戦略的に展開しております。今回、学会活動の更なる活性化を図る上で会員の皆様からご寄付を頂戴いたしたく、お願いを申し上げます。

皆様から頂きますご寄付は

情報技術を通じて、人類及び世界の発展に資するため  
情報技術を中心に学術および技術の振興に資するため  
将来を担う人材の育成に資するため

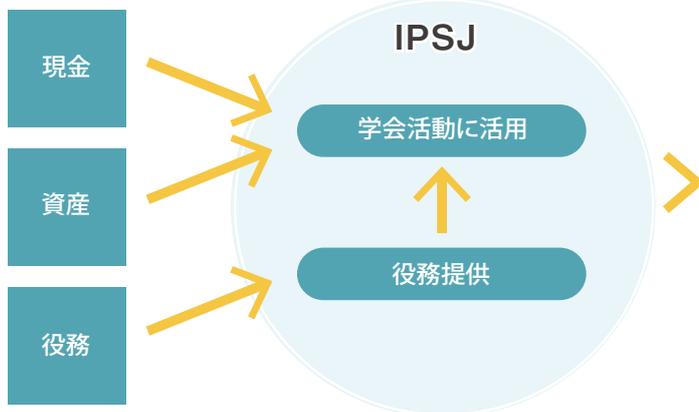
などの観点に照らし、下記の項目に活用させて頂く所存です。

今回ご寄付をお願いしたいのは現金に加えて、情報技術に関わる有形無形の資産（著作物、電子的コンテンツ、特許、ソフトウェア等）、ボランティアで提供いただける役務提供（経験や知識に基づく役務）なども含みます。お預かりいたしましたご寄付のうち用途のご指定のあるものは、そのご意向に沿った活用をさせて頂き、ご指定のないものは、その用途を学会活動の活性化に有効な諸事業で活用させて頂きます。今後も会員の皆様の絶大なるご支援・ご協力を頂きながら、学会発展のために努力して参る所存でありますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

\*ご注意 情報処理学会は寄付金に対する税金が優遇される特定公益増進法人ではございません。

## IPSJ 寄付

### 会員他寄付



### 活用先

#### 教育・育成

情報入試 子ども教室 パソコン教室

#### 社会貢献

表彰  
国際活動  
規格標準化  
情報資産保存  
学会諸事業  
その他



詳しくはこちら

<http://www.ipsj.or.jp/annai/outward/donation.html>

お問合せ

一般社団法人 情報処理学会 管理部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

TEL 03-3518-8374 FAX 03-3518-8375

✉ [soumu@ipsj.or.jp](mailto:soumu@ipsj.or.jp)

# 会員の広場

## Member's Voice

今月の会員の広場では、12月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特別解説「コンピュータ将棋と不正疑惑」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■将棋が好きなので、面白かった。(匿名希望)

■旬な話題を取り上げ、高度化する情報処理技術に対する人間性という観点での解説は刺激的であった。情報処理技術がいかに高度化されたとしても、そこに人がいる限り、すべては人に始まり人に終わることを忘れてはならない。(吉田泰光)

■非常にタイムリーであり、新たな知見の得られる解説であった。今号は特に読み応えのある号だった。(匿名希望)

特集「社会を変えるブロックチェーン技術」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■最近では、プログラミングコンテストの賞金がビットコインのこともあり、その安全性と仕組みについて理解したいところだったので、ちょうど良かった。(匿名希望/ジュニア会員)

■今回の特集は各記事が独立していて調整されていないため、冒頭の解説が重複していて、特集全体として冗長だった。完全を期することは難しいとしても、特集全体として一貫したストーリーが生まれるよう編集していただきたいです。(匿名希望)

■9月号のフィンテックの特集に興味を持っていたので、楽しみにしていた。難しい内容も多かったが最近の技術動向について理解できた。(澤 佳祐/ジュニア会員)

■ビットコインとブロックチェーンの関係や基本的な技術、第一世代のブロックチェーン技術の利用用途から見た限界、現在のプロジェクトなど新しい知識を増やすことができ、ためになった。ただ、ブロックチェーン技術の普及により社会が変わっていくという理屈の部分について多くの著者が説明を省いており、どういう理論で社会が変わるのかの説明が欲しかった。(後藤祐一)

■自分の研究分野への応用可能性を考えるきっかけになりました。(匿名希望)

■ブロックチェーン技術に対するさまざまな見解が掲載されており、会誌としての特色のある内容であった。今後も摩擦を恐れず、さまざまな見解の掲載に努力してほしい。(吉田泰光)

「2. 対談：ビットコインコア開発の現場とは?」

■ブロックチェーン自体が元々かなり分かりにくいうえに、対談形式で専門用語のみでやりとりされても非専門家にはまったく内容がつかめない。読者に内容をよりよく伝えようという意識を感じなかった。翻訳のたどたどしさも気になりました。

(匿名希望)

■外国では「ビットコインならば確実に使用できます」とあったが、ビットコインを見たこともない者にとってはどのような状況かもっと詳しく知りたいと思った。(匿名希望)

「6. ブロックチェーン、分散レジャー技術と社会の未来」

■未来を語るのならば、10年後、20年後、50年後のような時間軸を伴った考察が必要である。(吉田泰光)

小特集「学校まるごとわくわくプログラミング」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■すべての記事をぜひ無料公開してください。本会会員でない、小学校教員および教育委員会関係者、保護者などに読んでいただくことで、小学校へのプログラミング教育導入への理解が深まり、このような有用な記事を本会が発信しているということに社会にアピールできると思います。(匿名希望)

■スクラッチは自分がイメージするプログラミングとは異なるが(コードを書く方が好き)、プロジェクトマッピングなど、今まで何時間もかけてアナログ的に作業してきたことを効率的かつ効果的に発表することが学校でできることにに関して、とても羨ましく思う。(匿名希望/ジュニア会員)

■小学校でのプログラミング教育については、話題にはなっているが実際にどうなのかを知る機会は少ないのでよかった。普通の授業の一環として各科目の中に取り入れられるのは、今後目指すべき方向だと思った。(匿名希望)

■プログラミング教育は、生徒の主体性を伸ばすのに有効であると思う。(長山知由理)

■最初に阿部氏による小学校へのプログラミング教育の導入の経緯と課題がまとめられており、大変ためになった。また、その後は実際に導入されている教員の方々からの実践報告があり興味深かった。1人ですべての科目を教える小学校だからこそ、授業の道具としてプログラミング教育を組みやすいのかなとも思った。(後藤祐一)

■プログラミング教育はプログラミングを教えることが目的となりがちなので、今回の特集のようなケーススタディを参考に実りある成果が得られることを期待します。(匿名希望)

■すでにこのような取り組みがなされていたことをまったく知りませんでした。情報の専門家が短期間教育にかかわって去った後も、小学校で情報教育を継続させるためにどうすべきか?という課題があることを強く認識しました。2020年に向けた文部科学省の取り組みとともに、またこのような企画を掲載してほしいです。(匿名希望)

■品川区立京陽小学校の取り組みは、各先生方の工夫に富んでおり、努力に頭の下がる思いです。  
(匿名希望)

■ほかのテーマ(たとえば防災、環境、まちづくりなどの土木の分野)であっても、小学校の教育の現場への出前授業はしばしば行われますが、その報告は主として授業や題材を提供する専門家であり、今回のように学校の教師の方々からの発信を見かけることは少ないように思います。実現のために必要なこと(資金や物品の獲得、授業の中での位置付けの検討)など、参考になる情報です。  
(山田菊子)

#### 「7. プログラミング学習と学校経営」

■最後のまとめが良く書かれていると思いました。以下のキーワードが印象に残りました。小学校での教育としてすばらしいと思いました。「教師はすべて児童より勝っていなくても良いということ」「教師は…コーディネートに徹するということ」「…児童が勝ちとするものであること」「自ら次の学習課題さえも見つけられるようになっていく」。できれば課題についても言及していただきたかったです。  
(藤森英明)

■小学校におけるプログラミング教育の導入の具体例について小学校側から詳しく説明されており、非常に有用な記事だと感じた。  
(後藤祐一)

■小学校の現場において、どのように資金が確保されていくかという背景を知ることができました。  
(山田菊子)

教育コーナー「べた語義：AOとしての情報入試の実現」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■まずAO入試とは何かの説明を書いてほしかったです。  
(藤森英明)

連載「ビブリオ・トーク：コンピュータを使わない情報教育アンブレグドコンピュータサイエンス」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■紹介されていた本を読み、教育に活かしていきたいと感じました。  
(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■職業訓練でのプログラミングの現状について。  
(匿名希望)

■最新の技術的な情報と、業界の潮流を知るための読み物とバランスよくしていただけるとよいと思います。  
(匿名希望)

■レンドリング関連の特集が読みたいです。  
(持田恵佑)

■人工知能りんな、Tay、Siriのすごさとそれぞれの違いや将来の展望などを知りたい。  
(匿名希望)

■今年はポケモンGOや棋士の不正疑惑など、情報倫理について考える機会が多かったので、情報倫理に関する特集を読みたいです。  
(匿名希望)

■社会におけるAI関係の最新トピックスを掲載するコーナーがあればよいのではないのでしょうか。  
(匿名希望)

■IoT機器のセキュリティについて、危険性の指摘だけではなく技術的解説をお願いしたいです。  
(匿名希望)

【本欄担当 杉山弘晃, 油井 誠/会員サービス分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html>>にも掲載しています。Web版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>>で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部  
E-mail: [editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp) Fax (03) 3518-8375  
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ  
ください!



## IPJS カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「私たちを取り巻く情報の信頼性とライフタイムを意識した安全な社会基盤の確立に向けて」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-Z.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-Z.html</a>	2月27日(月)		
	東海支部2016年度学生論文奨励賞論文募集 <a href="http://www.ipsj-tokai.jp/">http://www.ipsj-tokai.jp/</a>	3月15日(水)		
	論文誌「超スマート社会に向けた高度交通システムとモバイル通信」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-E.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-E.html</a>	3月31日(金)		
	論文誌「社会の知的化を先導するコラボレーション技術とネットワークサービス」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-D.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-D.html</a>	4月10日(月)		
	論文誌「インタラクションの理解および基盤・応用技術」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-J.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-J.html</a>	4月21日(金)		
	論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-F.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-F.html</a>	5月8日(月)		
	論文誌「人文科学とコンピュータ」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-C.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-C.html</a>	5月9日(火)		
	論文誌「若手研究者」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-K.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-K.html</a>	6月7日(水)		
	論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-H.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-H.html</a>	8月2日(水)		
2月17日(金)	第75回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip75.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip75.html</a>	12月23日(金)	当日のみ	佛光大学二条キャンパス
2月17日(金)	第7回高齢社会デザイン研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/asd7.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/asd7.html</a>	12月29日(木)	当日のみ	静岡大学 浜松キャンパス
2月17日(金)～	第115回音声言語情報処理研究発表会	1月13日(金)	定員になり次第	琴平グランドホテル(香川県)
2月18日(土)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp115.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp115.html</a>			
2月21日(火)	東海支部主催講演会「組込みシステム向け仮想化技術ーハードウェアアーキテクチャとソフトウェアー」 <a href="http://www.ipsj-tokai.jp/">http://www.ipsj-tokai.jp/</a>			名古屋大学 IB電子情報館
2月24日(金)	第96回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm96.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm96.html</a>	12月23日(金)	当日のみ	沖縄セルラー電話(株)
2月27日(月)～	第112回数理モデル化と問題解決研究発表会	1月11日(水)	当日のみ	繁温泉清温荘
2月28日(火)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps112.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps112.html</a>			
2月27日(月)～	第114回音楽情報科学研究発表会	1月12日(木)	当日のみ	ヤマハ株式会社本社(静岡)
2月28日(火)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus114.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus114.html</a>			
2月28日(火)～	第68回高度交通システムとスマートコミュニティ研究発表会	1月21日(土)	当日のみ	はこだて未来大学
3月1日(水)	<a href="http://www.ysr.net.it-chiba.ac.jp/sigits/kenkyukai/kenkyukai.html">http://www.ysr.net.it-chiba.ac.jp/sigits/kenkyukai/kenkyukai.html</a>			
3月1日(水)～	第139回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os139.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os139.html</a>	1月17日(火)	当日のみ	アクロス福岡
3月2日(木)～	第170回マルチメディア通信と分散処理・	1月20日(金)	当日のみ	神奈川工科大学
3月3日(金)	第76回コンピュータセキュリティ合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps170csec76.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps170csec76.html</a>			
3月2日(木)～	インタラクション2017 <a href="http://www.interaction-ipsj.org/2017/">http://www.interaction-ipsj.org/2017/</a>	12月26日(月)	参加登録開始は1月上旬を予定	明治大学 中野キャンパス
3月4日(土)				
3月2日(木)～	第186回知能システム研究発表会	1月16日(月)	定員になり次第	北海道ルスツリゾートホテル
3月5日(日)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics186.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics186.html</a>			
3月3日(金)～	第113回プログラミング研究発表会	1月4日(水)	当日のみ	東京大学 本郷キャンパス
3月4日(土)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro113.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro113.html</a>			
3月3日(金)～	第139回情報システムと社会環境研究発表会	1月6日(金)	当日のみ	東京電機大学 東京千住キャンパス
3月4日(土)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is139.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is139.html</a>			
3月3日(金)～	第36回インターネットと運用技術研究発表会	1月15日(日)	当日のみ	カルチャーリゾートフェストーネ(沖縄県宜野湾市)
3月4日(土)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot36.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot36.html</a>			
3月6日(月)～	第172回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会	1月20日(金)	当日のみ	八洲学園大学(神奈川県横浜市)
3月7日(火)	<a href="http://www.sighci.jp/events/view/48">http://www.sighci.jp/events/view/48</a>			
3月7日(火)	第37回ゲーム情報学研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi37.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi37.html</a>	1月12日(木)	当日のみ	早稲田大学(本部)キャンパス
3月8日(水)～	第158回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会	1月17日(火)	当日のみ	大月ホテル和風館
3月10日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc158.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc158.html</a>			
3月9日(木)～	第206回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	1月13日(金)	当日のみ	国立情報学研究所(NII)
3月10日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim206.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim206.html</a>			
3月9日(木)～	第217回システム・アーキテクチャ・	1月13日(金)	当日のみ	具志川農村環境改善センター
3月10日(金)	第179回システムとLSIの設計技術・ 第44回組込みシステム合同研究発表会(ETNET2017) <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc217sldm179emb44.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc217sldm179emb44.html</a>			
3月9日(木)～	第82回モバイルコンピューティングとパーベイシブ・	1月18日(水)	当日のみ	東京大学 本郷キャンパス
3月10日(金)	第53回ユビキタスコンピューティングシステム合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mb182ubi53.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mb182ubi53.html</a>			

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
3月10日(金)	第125回情報基礎とアクセス技術・第104回ドキュメント コミュニケーション合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ifat125dc104.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ifat125dc104.html</a>	1月20日(金)	当日のみ	東洋大学白山キャンパス
3月10日(金)	～ 第3回アクセシビリティ研究発表会	1月13日(金)	当日のみ	筑波技術大学
3月11日(土)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/aac3.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/aac3.html</a>			春日キャンパス講堂
3月10日(金)	～ 第43回エンタテインメントコンピューティング研究発表会	1月13日(金)	当日のみ	慶應義塾大学
3月11日(土)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ec43.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ec43.html</a>			日吉キャンパス
3月10日(金)	～ 第101回グループウェアとネットワークサービス研究発表会	1月30日(月)	当日のみ	玉川大学
3月11日(土)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn101.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn101.html</a>			(東京都町田市)
3月11日(土)	～ 第139回コンピュータと教育研究発表会	1月27日(金)	当日のみ	津田塾大学
3月12日(日)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce139.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce139.html</a>			小平キャンパス
3月12日(日)	～ 第195回ソフトウェア工学研究発表会	1月23日(月)	当日のみ	早稲田大学
3月13日(月)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se195.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se195.html</a>			西早稲田キャンパス
3月13日(月)	～ 第162回アルゴリズム研究発表会	1月12日(木)	当日のみ	大分県由布市(予定)
3月14日(火)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al162.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al162.html</a>			
3月13日(月)	～ 第166回コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学 研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg166.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg166.html</a>	1月13日(金)	当日のみ	(株)GYAO
3月13日(月)	～ 第22回セキュリティ心理学とトラスト研究発表会	1月13日(金)	当日のみ	長崎県立大学
3月14日(火)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/spt22.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/spt22.html</a>			シーボルト校
3月16日(木)	～ 情報処理学会第79回全国大会	12月9日(金)	2月10日(金)	名古屋大学
3月18日(土)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/79/">http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/79/</a>		当日可	東山キャンパス
3月17日(金)	情報システム教育コンテスト (ISECON2016) <a href="http://miyagawa.si.aoyama.ac.jp/wiki/isecon2016.sidebar">http://miyagawa.si.aoyama.ac.jp/wiki/isecon2016.sidebar</a>	11月25日(金)		東京電機大学 東京千住キャンパス
3月21日(火)	第21回教育学習支援情報システム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cle21.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cle21.html</a>	1月27日(金)	当日のみ	京都大学
3月23日(木)	～ 第49回バイオ情報学研究発表会	2月2日(木)	当日のみ	北陸先端科学技術 大学院大学
3月24日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio49.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio49.html</a>			
4月24日(月)	～ The 1st cross-disciplinary Workshop on Computing Systems, Infrastructures, and Programming (xSIG2017)	12月21日(水)		虎ノ門ヒルズ フォーラム
4月26日(水)	<a href="http://xsig.hpcc.jp/">http://xsig.hpcc.jp/</a>			
6月5日(月)	～ 2017年ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学 シンポジウム (HPCS2017)	1月30日(月)		神戸大学先端融合 研究環統合研究拠点
6月6日(火)	<a href="http://hpcs.hpcc.jp/">http://hpcs.hpcc.jp/</a>			
9月12日(火)	～ FIT2017第16回情報科学技術フォーラム			東京大学
9月14日(木)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2017/">http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2017/</a>			本郷キャンパス



Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 1月15日 人材募集情報 (Vol.58 No.2)
- 1月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.58 No.2)
- 1月13日 論文誌「若手研究者」特集 論文募集
- 1月13日 論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集 論文募集
- 1月11日 コンビニ決済ができるようになりました
- 1月5日 新年のご挨拶

## 人材募集 (有料会告)



**申込方法:** 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

\*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

**申込期限:** 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

**掲載料金:** 国公立教育機関、国公立研究機関 税抜 20,000円（税込 21,600円）

賛助会員（企業） 税抜 30,000円（税込 32,400円）

賛助会員以外の企業 税抜 50,000円（税込 54,000円）

\*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 税抜 4,000円（税込 4,320円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

**申込先:** 情報処理学会 会誌編集部（有料会告係） E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

\*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

### \*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

#### ■北陸先端科学技術大学院大学知識科学系

- 募集人員** 助教 1名（常勤、任期5年間。当該任期内に再任（3年）にかかる審査および一定の要件の下、講師（5年）への昇任にかかる審査を受けることが可能）
- 専門分野** メディアインタラクション分野（インタラクション分析、インタラクション・デザイン、インタラクティブ・メディア）
- 応募資格** 採用時に博士の学位を有し、本学の理念と目標に従って、熱意を持って本学における教育や競争力のある先端研究を推進できる方。日本語、英語を使つてのグローバルコミュニケーション能力のある方
- 着任時期** 2017年10月以降なるべく早い時期
- 応募締切** 2017年3月17日17時（日本時間）
- 照会先** 先端科学技術研究科知識科学系担当（共通事務管理課共通事務第一係）  
E-mail: ks-dean@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1150
- その他** 詳細はWebページ ([http://www.jaist.ac.jp/top/data/ks\\_H281215\\_media.pdf](http://www.jaist.ac.jp/top/data/ks_H281215_media.pdf)) をご参照ください

#### ■北陸先端科学技術大学院大学情報科学系

- 募集人員** 助教 1名（任期5年。当該任期内に再任（3年）にかかる審査および一定の要件の下、講師（5年）への昇任にかかる審査を受けることが可能です）
- 専門分野および関連する主な職務** 研究：情報ネットワーク（Internet of Thing）に関する研究、教育：-情報科学系の講義の一部を担当 -丹康雄教授 ([http://www.jaist.ac.jp/profiles/info.php?profile\\_id=00154](http://www.jaist.ac.jp/profiles/info.php?profile_id=00154)) およびリム勇仁准教授 ([http://www.jaist.ac.jp/profiles/info.php?profile\\_id=548](http://www.jaist.ac.jp/profiles/info.php?profile_id=548)) と共同して、研究室の博士前期・後期課程学生、また他研究室の副テーマ学生を指導
- 応募資格** 採用時に博士の学位を有し、本学の理念と目標に従って、熱意を持って本学における教育や競争力のある先端研究を推進できる方。他研究者と連携し、共同研究を推進する方。日本語、英語を使つてのグローバルコミュニケーション能力のある方
- 着任時期** 2017年10月1日
- 提出書類** 1つの電子ファイル（PDFファイルまたはWordファイル）として作成の上、提出してください。作成上の注意事項に従ってご作成ください。詳細についてはWebページ ([http://www.jaist.ac.jp/top/data/is\\_H281215.pdf](http://www.jaist.ac.jp/top/data/is_H281215.pdf)) をご覧ください  
(1)履歴書、(2)教育活動について、(3)研究業績について（[学術論文（①査読付き国際論文誌、②査読付き国内論文誌、③査読付き国際会議）]、[国際会議招待講演]、[著書]、[研究費獲得実績]、[特許（出願・公開・登録）]、[産学連携実績]、[その他（開発したオープンソースソフトウェア等）]）について、(4)その他の活動について（学内（社内）貢献、学会への貢献、社会貢献、国際貢献等や受賞など、特に重要と思われる事項について）、(5)教育活動および研究活動にかかる今後の計画・抱負等（自身のキャリアパスや学生の研究指導に関する考え方を含む、任期中の研究計画および抱負、達成目標、およびそれらの見通しについて）、(6)応募者本人の連絡先（郵便宛先とE-mailアドレス）、(7)意見を伺える方3名の氏名・所属と連絡先（E-mailアドレス）
- 応募締切** 2017年3月17日17時（日本時間）
- 送付先** 北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科 情報科学系長 東条 敏  
E-mailにより提出してください（提出先：is-dean@jaist.ac.jp）。なお、E-mailの「Subject」は、「教員応募書類（情報科学系・助教）」としてください。応募書類受付後、本学からメールを返信しますので、ご確認願います
- 照会先** 情報科学系担当（共通事務管理課共通事務第二係） E-mail: is-dean@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1147
- その他** 本学では、選考に際して同等のクオリフィケーションの場合は、女性や外国人を優先します。本学の育児・介護期間の両立支援に対する取組みについては、Webページ (<http://www.jaist.ac.jp/top/employment/wlb.html>) をご参照ください  
待 遇：本学の規則による  
選考方法：これまでの研究、教育に関する業績、今後の計画や抱負に基づき選考します。研究業績については、論文数だけでなく主要な研究内容について評価します。内外の評価も参考にします。また、必要に応じ照会者の意見も参考にします。書類選考で選ばれた候補者に面接を行います。面接は上記応募資格に挙げている項目について日本語または英語で行います。別途、提出いただいた資料に関する説明や講演などをお願いすることがあります。応募の秘密を厳守します

## ◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

### 記

#### ■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1ページ，1/2ページ または1/4ページ	(主催・共催)	
			1ページ	50,000円(税込54,000円)
			1/2ページ	30,000円(税込32,400円)
			1/4ページ	20,000円(税込21,600円)
			(協賛)	
		広告として取り扱う		
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	20,000円(税込21,600円)
			賛助会員（企業）	30,000円(税込32,400円)
			賛助会員以外の企業	50,000円(税込54,000円)
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金4,000円(税込4,320円)で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

#### ■原稿の書き方

- 行事次第書： A4判カメラレディまたはPDFファイル（フォント埋め込み）とします。  
 (1ページ) 天地 260mm × 左右 175mm  
 (1/2ページ) 天地 130mm × 左右 175mm  
 (1/4ページ) 天地 65mm × 左右 175mm  
 \* A4判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mailまたはFax，郵送にてお送りください。  
 [募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]  
 \* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月15日を締切日とし，翌月号（15日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）  
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375



【特集：ネットワークサービスと分散処理】

- 特集「ネットワークサービスと分散処理」の編集にあたって  
浅見 徹
- Virtual and Augmented Reality on the 5G Highway  
Haruo Takemura 他
- Virtual Reality Technologies in Telecommunication Services  
Hidenobu Nagata 他
- End-to-End Network Slicing for 5G Mobile Networks  
Akihiro Nakao
- 購入商品レベルでの購買行動に着目したライフスタイルの推定  
土井千章 他
- EVTour: 電気自動車の乗換スケジューリング法の提案と性能評価  
上田知幸 他
- 再利用情報を利用したメールとタスクの関連付けシステムの提案\*  
小林寛明 他
- Information Centric Networking における人気度の収集と通知  
を用いたキャッシング手法  
神本崇史 他
- In-Network Caching for Simultaneous Download from Multiple  
Receivers in Content-Centric Networking  
Takahiko Kato 他
- コンシステントハッシュ法を用いた複数センサデータストリー  
ム配信システムの実現と評価\*  
石 芳正 他
- 複数動画を同期配信する分割放送型配信システム  
井上祐輔 他
- マルウェアのネットワーク内の挙動を利用した標的型攻撃にお  
ける感染経路検知ツールの開発と評価  
佐藤 信 他
- 測域センサにより取得される歩行パターンを利用した高齢者/  
若年者弁別手法  
坂井 栞 他
- 相互補完型 Wi-Fi・地磁気フィンガープリンティング手法の評価  
東 和樹 他
- スマートスペースにおける最小コストでのコンテキスト遷移を  
可能にするデバイス操作系列導出ツール  
水本旭洋 他
- エナジハーベスト用無線型赤外線・ドア閉閉センサと家電消費電  
力に基づいた宅内生活行動認識システム  
柏本幸俊 他
- A Distributed Scheduling through Queue-length Exchange in  
CSMA-based Wireless Mesh Networks  
Toshiki Takeda 他
- 無線アドホックネットワークにおける建物等の影響を考慮した  
Greedy Forwarding  
本間真司 他
- IEEE 802.11n 無線 LAN のアップロード TCP 通信における  
Bufferbloat 問題に対するアクセスポイントでの対応方式  
野元祐孝 他
- 指向性受信により 1 度の送信機会で 2hop 先端まで送信を行  
う MAC Level ブロードキャストプロトコル  
國安哲郎 他
- 無線センサネットワークにおける仮想トポロジを用いた集約型  
自己組織化ノード位置推定方式とその実装評価  
北之馬貴正 他
- SDN-Mon: Fine-Grained Traffic Monitoring Framework in  
Software-Defined Networks  
Phan Xuan Thien 他
- ビル設備機器の状態監視における仮想化技術の適用可能性の検討  
金子 雄 他

- 不安定な通信環境における情報損失を低減する災害情報収集機構\*  
多幡早紀 他
- A Limiter on Dynamic Metrics to Reduce Routing Loops in  
Wireless Mesh Networks  
Takuya Yoshihiro 他
- High Throughput Dequeuing Technique in Distributed  
Message Queues for IoT  
Masafumi Kinoshita 他
- モバイルセンサデータベースにおける効率的な Top-k 検索結果  
の多様化手法  
横山正浩 他
- リスクウェア複製システムにおいて構成変更による再配置  
データ量を抑制する複製先部分再選択方式  
松本慎也 他

【特集：組み込みシステム工学】

- 特集「組み込みシステム工学」の編集にあたって  
早川栄一
- 車載制御システム向けマルチコアプログラミングフレームワーク  
小川真彩高 他
- A Low-Energy Application-Domain Specific Instruction-set  
Processor towards Low-Computational Lossless Compression  
Method for Stimuli Position data of Artificial Vision Systems  
Tomoki Sugiura 他
- D-Case を用いた安全分析結果の説明手法の提案  
小林展英 他
- RMT Processor の割込み起床機構を用いた低遅延リアルタイム  
実行  
大沢幸平 他
- Automotive Attacks and Countermeasures on LIN-Bus  
Junko Takahashi 他

【一般論文】

- Grammar Compression of Call Traces in Dynamic Malware  
Analysis †  
Takahiro Okumura 他
- APAT: BGPSEC におけるアグリゲート署名の導入\*  
田中和磨 他
- 映像解析による大規模避難誘導システム\*  
寺西裕一 他
- 心拍変動を用いた認知能力水準の逐次推定\*  
角田啓介 他
- A Secure Data Exchange System in Wireless Delay Tolerant  
Network Using Attribute-Based Encryption  
Amang Sudarsono 他
- 社会的影響とメディア広告の影響を考慮した購買要因推定  
田中佑典 他
- 言語的・対話的特徴に着目したコールセンタ対話における話者  
の知識量推定  
宮崎千明 他
- チルトレンズのカメラキャリブレーションと CG による再現\*  
馬場雅志 他
- 年齢がパブリックディスプレイ利用に与える影響：ミュージア  
ムにおけるフィールドスタディ  
市野順子 他

\* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



## 論文誌トランザクション掲載論文リスト (Feb. 2017)

### 【Transactions on System LSI Design Methodology Vol.10】

- Toward Unidirectional Routing Closure in Advanced Technology Nodes Xiaoqing Xu 他
- An Accurate and Fast Trace-aware Performance Estimation Model For Prioritized MPSoC Bus With Multiple Interfering Bus-Masters Farhan Shafiq 他
- Intensity Difference Map (IDM) Accuracy Analysis for OPC Efficiency Verification and Further Enhancement Ahmed Awad 他
- An accelerating technique for SAT-based ATPG Yusuke Matsunaga



- 高等学校芸術（美術）科における映像メディア表現教育の構造化  
神戸由美子 他



### 【論文誌 プログラミング Vol.10 No.2】

- A Layer-based Approach to Hierarchical Dynamically-scoped Open Classes Matthias Springer 他
- Evaluation of Libraries for Parallel Computing in Haskell — A Case Study with a Super-Resolution Application — Takuya Matsumoto 他



### 【論文誌 教育とコンピュータ Vol.3 No.1】

- 機械の学習と人間の学習—ゲーム情報学を題材として—  
松原 仁
- 高校生によるチャットを利用した協調的問題解決の特徴  
菅井道子 他
- 授業映像・写真・筆記コメントを同期表示できる授業評価記録・閲覧システムの提案と開発  
坂東宏和 他
- プログラミング入門教育における図形描画先行型のコースウェアが学習に与える影響  
西田知博 他
- 動物園における教育プログラムのための動物行動観察支援システム  
吉田信明 他
- Use and Extent of Cloud and Mobile Technologies in Distributing Educational Materials During Crisis, Syria as an Example  
Muhammad Wannous 他
- タブレット端末で動作するマイコン用ビジュアルプログラミング環境 aiBlocks の開発  
光永法明 他
- プログラムの誤り修正課題および正誤判定システムの自動生成  
蜂巢吉成 他

### 【論文誌 デジタルコンテンツ Vol.5 No.1】

- いけばなと CG によるインタラクティブデジタルコンテンツ "デジタル枯山水" と "いけばな影絵"  
岩崎妃呂子 他
- ZZZoo Pillows : 擬似的な添い寝による不安の軽減を目的とした抱き枕の開発  
谷中俊介 他
- 電子工作体験キット Haconiwa のデザインと評価  
阪口紗季 他
- ユーザの姿勢を考慮したモバイル端末の把持姿勢認識  
小川剛史 他
- 香りのフェードイン・フェードアウトの表現方法の調査  
松本紗也加 他



### 読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

# ご意見をお寄せください！

【3月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）  
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp  
（E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください）  
※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。  
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. ( ) -
- (3) E-mail:
- (4) 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（小・中・高校・高専・大学・大学院など）  
(e) 学生 (f) 学生（ジュニア会員） (g) その他…………… 4- [ ]
- (5) 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務  
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（小・中・高校・高専・大学・大学院など）  
(h) 学生 (i) 学生（ジュニア会員） (j) その他…………… 5- [ ]
- (6) 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上…………… 6- [ ]
- (7) 性別： (a) 男性 (b) 女性…………… 7- [ ]
- (8-1) あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ…………… 8-1- [ ]
- (8-2) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：  
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない…………… 8-2- [ ]
- (9) どちらの媒体で記事をお読みになりましたか？  
(a) 冊子版 (b) 情報学広場（電子図書館） (c) App Store (d) fujisan (e) その他…………… 9- [ ]
- (10) 今月号（2017年3月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。  
[ a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない ]
- 巻頭コラム：CAMBRIC、7つのビッグトレンド時代の勝機とは…………… 10-1- [ ]
- 特別解説：Masterの登場…………… 10-2- [ ]
- 特集：エドテック
1. エドテックがもたらす教育イノベーションとは？…………… 10-3- [ ]
2. オープンエデュケーションとエドテック…………… 10-4- [ ]
3. アダプティブ・ラーニング（適応学習）の潮流…………… 10-5- [ ]
4. 学校教育における AI 型教材導入のすすめ…………… 10-6- [ ]
5. オンライン英会話のしくみ…………… 10-7- [ ]
6. スポーツがうまくなるアプリ…………… 10-8- [ ]
7. 「つくる」を軸に自由に、分野横断的に学ぶ…………… 10-9- [ ]
8. ブロックを活用した教育…………… 10-10- [ ]
9. いじめ防止アプリ…………… 10-11- [ ]
10. ICT が可能にした未来の大学…………… 10-12- [ ]
11. 教育クラウド・プラットフォーム協議会…………… 10-13- [ ]
- 小特集：Live E!：～活きた地球の環境情報～
1. Live E! プロジェクト：活動趣旨とその主な成果…………… 10-14- [ ]
2. センサネットワーク技術 Live E! アーキテクチャから IEEE 1888 へ…………… 10-15- [ ]
3. 広域の気象センサから得たデータの可視化…………… 10-16- [ ]
4. 教育現場における利活用：高大連携とコンテストの主催…………… 10-17- [ ]
- 会誌編集委員会女子部…………… 10-18- [ ]
- 解説：観光情報学の最前線…………… 10-19- [ ]
- IT 好き放題：アンドロイド文士は芥川賞を受賞するか…………… 10-20- [ ]
- IFIP 情報処理国際連合—近況報告…………… 10-21- [ ]
- ぺた語義：「読み書きそろばん」から「コンピュータ活用力+コミュ力」へ…………… 10-22- [ ]
- ぺた語義：情報システムを読み解く力の育成 (2)…………… 10-23- [ ]
- ビブリオ・トーク：1493…………… 10-24- [ ]
- 会議レポート：UIST 2016 参加報告…………… 10-25- [ ]
- 連載漫画：IT 日和…………… 10-26- [ ]

[11] 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [11-1] 良かった記事 ..... 11-1- [ ]
- [11-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 11-2- [ ]
- [11-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 11-3- [ ]
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった  
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

[12] 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [12-1] 良くなかった記事 ..... 12-1- [ ]
- [12-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 12-2- [ ]
- [12-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 12-3- [ ]
- a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる  
f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

[13] 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- [13-1] エドテック：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 13-1- [ ]
- [13-2] Live EI：～活きた地球の環境情報～：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 13-2- [ ]

[14] 設問 [10] で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

[15] 会誌に対するご意見やご感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手紙ですが別紙を追加してください）

### ■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
<b>■ 会員サービス部門</b>			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会誌配布，会員特典，会費等口座振替，海外からの送金，賛助会員，電子図書館
<b>■ 会誌編集部門</b>			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，転載許可，出版，コンピュータ博物館（情報処理技術遺産），著作権
デジタルプラクティス	editdp@ipsj.or.jp		デジタルプラクティス（DP）の編集・査読，DPレポート
図 書	tosho@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出版物購入
<b>■ 研究部門</b>			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル/JIP/トランザクション）の編集・査読
調査研究/ 国際/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，研究グループ，シンポジウム，国際会議，IFIP委員会，情報処理教育委員会，ア krediyation 対応，認定情報技術者制度
<b>■ 事業部門</b>			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，プログラミングコンテスト，プログラミング・シンポジウム，協賛・後援
技術応用	event@ipsj.or.jp		連続セミナー，短期セミナー，ITフォーラム，ソフトウェアジャパン，その他講習会
<b>■ 管理部門</b>			
総務/庶務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	総会・理事会，支部，選挙，総務系選奨，関連団体，アドバイザーボード
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，セキュリティ，電子化委員会，電子図書館，IPSJメールニュース
<b>■ 情報規格調査会</b>			
規格部門	問合せフォーム <a href="https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html">https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html</a>		ISO/IEC JTC 1での情報技術の標準化業務 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 <a href="http://www.itscj.ipsj.or.jp/">http://www.itscj.ipsj.or.jp/</a>

## 書評・会議レポート募集のお知らせ

情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

### 1. 募集対象

次の2種類の記事について、原稿を募集します。

- a) 書評：過去2年間に出版された、本会会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
- b) 会議レポート：情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本会会員に広く知らせる価値のある話題。

### 2. 応募資格

原則として本会会員に限ります。



### 3. 応募の手続き

- 1) 表題：書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。  
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
- 2) 評者名（会議レポートの場合は筆者名）・所属・評者連絡先（住所、E-mail、Faxなど）の記載を忘れずに。
- 3) 本文：書評は1,500字以内または3,000字以内（1または2ページ）。会議レポートは2,100字前後で書く。
- 4) （必要であれば）参考文献、付録、図、表をつける。  
詳しくは「原稿執筆のご案内／書評・会議レポート」  
(<http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/shohyonews.html>) を参照してください。

### 4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

### 5. 照会／応募先

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: [editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp)

## 次号（4月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

### 「特集」人の気づきに迫る：認知科学、心理学からのアプローチ

気づきを生み出す人の注意：その基本図式／医療・福祉の現場において、気づきを生み出す人の認知—転倒・転落と誤薬における気づき—／市民生活における人の気づき—政治的意思決定を例に—／デザイン・芸術の気づきを生む人の認知／「気づき」を生み出す被疑者面接技法—無実発見のためのコミュニケーション・デザイナー—／パーソナリティという見地からの認知：—テキストの筆者の性格推定の取組みを通じて—

解説：データ相互運用問題を支える技術—古典的技術から最近の技術—……………加藤弘之

教育コーナー：ぺた語義

連載：IT日和／会誌編集委員会女子部／女子部が行く！／ビブリオ・トーク

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT好き放題

会議レポート：The International Conference for High Performance Computing, Networking, Storage and Analysis (SC 2016) 参加報告

# 2016年10月より入会承認のプロセスが変わりました

すでに Web 等でお知らせしたとおり、新規入会については、2016年10月より入会承認のプロセスが変更となりましたのでご注意ください。詳細は下記 URL をご覧ください。なお、2017年度から正会員の会費が改定となります。

【重要】新規入会時の手順および会費請求方法の変更について (2016.5.18)

[http://www.ipsj.or.jp/member/nyukai\\_tejunhenko.html](http://www.ipsj.or.jp/member/nyukai_tejunhenko.html)

- 変更点
  - ・入会会費は年度額を請求します。会費[正会員：2016年度 9,600円→2017年度 10,800円, 学生会員：4,800円]
  - ・年度途中からの入会でも、翌年度への繰越はありません。新年度は4月からスタートします。
  - ・指定期日または1カ月以内に入会会費の納入が確認できなかった場合には、入会をキャンセルしたとみなします。

## ■ 入会承認プロセス

変更箇所は下線のとおり。 ( ) 内は作業者、 <> 内は手段を示します。



## ■ 会費等の金額

	入会金*1 (消費税対象外)	年会費*2 (消費税対象外)	論文誌購読費*3 (消費税込*5)	研究会登録費*4 (消費税込*5)
正会員	2,000円	2016年度：9,600円 →2017年度：10,800円	5,400円	有料
学生会員	---	4,800円	5,400円	有料 (1つ無料)
賛助会員	---	1口 50,000円	5,400円	有料 (口数分無料)

\*1：正会員の入会金免除の方法は、入会申込書に記載しています。

\*2：表示の会費は2016年度および2017年度額です。

\*3：論文誌ジャーナル (月刊)。オンラインのみの購読となります。年度途中からの場合でも繰越はありません。

\*4：入会と同時に申込みできますが、毎年度変わりますので、研究会のWebサイトを参照してください。年度途中からの場合でも繰越はありません。

\*5：消費税込の金額については、8%となります。

## ■ 照会先

一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 メール: [mem@ipsj.or.jp](mailto:mem@ipsj.or.jp) <http://www.ipsj.or.jp/>

# 「情報処理」 カタログ同封サービスの ご案内



カタログ同封  
 サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社/貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。  
 通常のDMと異なり学会誌に同封しますので、**読者の開封率は格段に上がります。**  
 また、カタログ送付にかかる**コストを最小に抑えることができ**、なおかつ情報処理を専門とする読者に**ターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能**となります。

## お申し込み方法と掲載までの手続き

- 封入希望月の前月15日までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。
  - ◆会社名、担当者、連絡先(住所、Tel、Fax、E-mail) ◆封入希望号
  - ◆サイズ ◆カタログの簡単な内容説明
  - ◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。
- 封入希望月の遅くとも前月末日までに下記事項について手配をお願いします。
  - ◆カタログ見本を問合せ先までお送りください(PDF、Fax可)。
  - ◆納品業者をお知らせください。
- 納品日は封入希望月の5日(土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日)です。日付指定にて必要枚数(20,000枚)を印刷し指定の納品先へお送りください。
 

※納品先は、お申し込み後にご連絡いたします。  
 ※納品が遅れますと同封ができない場合がございます。その場合はキャンセルとさせていただきます。
- カタログを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。
- 後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

1通あたり  
 約17.5円!

**基本価格 350,000円**  
 (税込 378,000円)

対象：全会員 23,000通 配布  
 (正会員/名誉会員/学生会員/賛助会員)

大学や  
 共催事業は  
 さらに割引も!

大学/研究所/賛助会員または情報処理学会主催・共催事業は、下記のとおり割引料金が適用されます。

大学/研究所/賛助会員  
 (基本価格の40% Off!) **210,000円**  
 (税込 226,800円)

情報処理学会主催・共催事業\*  
 (基本価格の80% Off!) **70,000円**  
 (税込 75,600円)

\*情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4判またはA3判二つ折り(その他についてはご相談ください)  
 用紙：色上質厚口(四六判80kg)またはコート紙(四六判90kg)相当

## 問合せ先

[広告代理店] アドコム・メディア(株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp  
 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27  
 Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

一般社団法人情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp  
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
 Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

会誌「情報処理」

デジタルプラクティス **無料**

# App Store アプリで 購読できます！



会誌「情報処理」



デジタルプラクティス

会誌「情報処理」, 「デジタルプラクティス」アプリは  
 iPad, iPhone, iPod Touch といった iOS 端末から  
 無料でダウンロードできます

会誌

- 月単位の購入が可能です。
- 購入前に立ち読みができますので、ぜひいちどおためしください。
- 年間購読で 12,800 円 (1 冊あたり約 1,000 円) でお得です。  
 1 カ月：1,700 円 / 6 カ月：9,800 円 / 1 年：12,800 円

DP

- 「デジタルプラクティス」は会員・非会員を問わず、どなたでも**無料**でお読みいただけます。
- DP アプリを一度ダウンロードすれば、最新号が自動で送られてきます。

購読  
無料!!



App Store / 発行: inroads inc

月刊 情報処理 (情報処理学会) | inroads inc.

スクリーンショット

年間購読  
でお得!!

まわりの方にも  
ご紹介ください!

アプリのダウンロードはこちら (無料)

会誌「情報処理」



<https://itunes.apple.com/us/app/yue-kan-qing-bao-chu-li-qing/id910830137?l=ja&ls=1&mt=8>

デジタルプラクティス



<https://itunes.apple.com/jp/app/qing-bao-chu-li-xue-huidejitarupurakutisu/id923233022?mt=8>

小中高校生、高専生、大学学部、専門学校生の皆さん、  
情報処理学会のジュニア会員になりませんか？

2017年度

# ジュニア 会員 募集!!

会費  
無料

## 人気の学会誌が読める！

面白くてためになる情報処理学会の月刊誌「情報処理」を電子図書館で無料閲覧しよう！

## 電子図書館をフルに活用できる！

幅広いトピックをカバーする研究報告や専門的な論文を無料で読もう！

## 学会のイベントにお得に参加できる！

無料またはジュニア会員価格でお得に参加しよう！



## 入会について

### どうすれば入会できますか？

下記のジュニア会員専用の入会申込フォームで、オンラインで登録が完了します。

<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai-junior.html>

未成年の方は、指導教員または保護者の氏名欄にもご記入ください。



### いつまでに申し込みが必要ですか？

この期日を過ぎてから申し込みをされた方は、翌年度継続扱いにて承ります。

毎年**10月31日**まで

### 何年生まで申し込みできますか？

対象者は、下記の通りです。2017年4月の学年でご判断ください。

小中高校生

大学学部**3年生以下**

高等専門学校専攻科**1年生以下**

短期大学生

専門学校生

※ただし、以前「正会員」にご入会いただいている方はこの制度をご利用いただけません。



## ジュニア会員とは

### ジュニア会員制度の概要

若い世代の学生の皆様に、情報処理学会のコンテンツに触れてもらえる機会を増やすことで、学生の皆様のステップアップに繋がっていただくとともに、学術と産業の発展に貢献できればと考えて、この制度を始めることにしました。

### ジュニア会員のサービス内容

- 会費が無料です。
  - 創刊号から最新号まですべての「情報処理」を電子図書館で無料閲覧できます。紙の冊子での配布はありません。
  - 電子図書館に掲載しているその他の有料論文もすべて無料閲覧できます。
  - 本会のイベントは無料（またはジュニア会員価格）で参加できます。イベントによっては参加できない場合があります。
  - すべての研究発表会へ原則無料で参加できます。
- ※会員証はイベント参加時にご持参ください。

### 会員資格の有効期間と会員継続方法

- 会員資格の有効期間：入会日から年度末（3月末）まで
- 学生証の確認をさせていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 会員継続方法：毎年11月上旬に、電子メールで会員継続意思確認のご連絡をさせていただきますので、回答フォームより11月末までにご回答をお願いいたします。期日までにご回答を頂けない場合には、対象外となる方につきましては年度末をもって退会とさせていただきます。翌年4月に対象者でなくなつて有料会員（正会員または学生会員）を希望された方には、翌年度の会費支払いのご案内を1月頃にお送りします。会員継続をしない場合には、3月末までに退会連絡をしてください。

お問合せ先：会員サービス部門 E-mail : [mem@ipsj.or.jp](mailto:mem@ipsj.or.jp) Tel. 03-3518-8370



詳しくはWebをご覧ください。

<http://www.ipsj.or.jp/member/junior.html>



ipsj ジュニア

検索

**CONTENTS**

**Preface**

- 170 **CAMBRIC – The Seven Megatrends Reshaping the World**  
William H. SAITO (Special Advisor - Cabinet Office Government of Japan)

**Special Article**

- 172 **Burst of Master**  
Hitoshi MATSUBARA (Future Univ. Hakodate)

**Special Features**

**EdTech**

- 174 **0. Foreword**  
Hiroyoshi WATANABE (Teikyo Univ.)
- 176 **1. The Educational Innovation that EdTech Brings - Identified Nature of EdTech -**  
Masahiro SATO (DigitalHollywood Univ. Graduate School)
- 180 **2. Open Education and EdTech**  
Katsusuke SHIGETA (Information Initiative Center, Hokkaido Univ.)
- 184 **3. Wave of Adaptive Learning - Personalized Learning Experience with the Use of Educational Big Data -**  
Akira TANAKA (Knewton Japan K. K.)
- 186 **4. Introduction of AI-powered Teaching Material to School Education - Securing Time for Children to Learn the Skills in Surviving their Future -**  
Genki JINNO (Compass, Inc.)
- 188 **5. How Online English Works : Learning a Foreign Language without Leaving Japan**  
Tomohisa KATO (RareJob Inc.)
- 190 **6. App for Sports Progress**  
Taiki YOJIMA (DANK1 Inc.)
- 192 **7. Learn More Freely by Making Practices and Possibilities of FabLearning**  
Yuka WATANABE (Global STEM Learning Association, Japan)
- 195 **8. Building Now the Skills for the Future with LEGO Bricks**  
Miyuki SUDO (LEGO Education)
- 197 **9. Anti Bullying App - Solving Bullying Problems with IT-**  
Daizaburo TANIYAMA (STOPit Japan Co., Ltd.)
- 199 **10. A Re-Invented University by ICT**  
Hideki YAMAMOTO (Minerva Schools at KGI)
- 201 **11. The Council of Educational Cloud Platform - The Platform of Platforms -**  
Yuji MIMAYA (Ministry of Internal Affairs and Communications)

**Special Features**

**Live E! : Live Environmental Information of the Earth System for Digital Environmental Information toward Autonomous Information Generation, Distribution, Processing and Sharing**

- 204 **0. Foreword**  
Hideki SUNAHARA (WIDE Project)
- 206 **1. Vision and Achievements of Live E! Project**  
Hiroshi ESAKI and Hideki SUNAHARA (WIDE Project)
- 208 **2. Sensor Networking with Live E! Architecture and Renovation to IEEE 1888**  
Hideya OCHIAI (The Univ. of Tokyo) and Masato YAMANOUCHI (Keio Univ.)
- 211 **3. Visualization of Data from Widely Deployed Weather Sensors**  
Masahiko KIMOTO (SOUM Corp.) , Masaya NAKAYAMA (The Univ. of Tokyo) and Kiyoshi INOUE (SOUM Corp.)
- 215 **4. Use of Live E! in Education : High School-university Collaboration and Live E! Science Contest Organization**  
Eiko TAKAOKA (Sophia Univ.) and Hiroyuki INOUE (Hiroshima City Univ.)

**Article**

- 220 **Forefront of Sightseeing Informatics - Technologies of Collective Intelligence for Promotion of Personalized and Distributed Sightseeing -**  
Qiang MA (Kyoto Univ.)

**Senior Column : Messages on Favorite IT**

- 227 **Shall an Android Writer be Awarded "Akutagawa Prize"?**  
Shunsuke UEMURA

**"Peta-gogy" for Future**

- 237 **From the Three Rs Toward the Two Cs - Let's Get Computer and Communication Literacy -**  
Mayumi UEDA (Univ. of Marketing and Distribution Sciences)
- 238 **Cultivating the Ability of Finding Meaning in Information Systems – Part II**  
Motonari TANABU (Yokohama National Univ.)

- 219 **The Women's Club of the Editorial Committee of the IPSJ Magazine**
- 228 **IPSJ Activity Report**
- 242 **Biblio Talk**
- 244 **Conference Report**
- 247 **Mourning**



2016年度に編集委員となって初めての担当が「特集エドテック」でした。教育WGで「エドテックの特集を組もう」「いいねえ」「じゃ、担当お願い」「えっ」といったやりとりで始まった特集です。「エドテックはEducation × Technology だから、コンピュータと教育研究会（CE）や教育学習支援情報システム研究会（CLE）でネタが見つけれられるよね」といった軽い感じで始めましたが、いろいろ調べてみると、「X-テック」という語句は近年の技術革新を背景としてイノベーションをもたらそうとする動きを表していることが分かってきました。

そこで、エドテックの第一人者であるデジタルハリウッド大学の佐藤昌宏先生にヒヤリングをさせていただきました。私自身もそのヒヤリングでエドテックを理解し、具体的事例についてもご紹介いただくことで、今回の特集を企画することができました。佐藤先生にもエドテックの全般的な解説を執筆していただき、「エドテックの今」を伝える特集にできたと思います。この場を借りて、あらためて御礼申し上げます。

そのようにして、エドテックの具体的事例をお持ちの方々に執筆していただくことになったわけですが、具体的な事例という性質上、執筆者は企業の方々が多くなりまし

た。このため、初稿は会社・製品紹介の側面が強い原稿が多く上がってきました。できるだけ企業色を弱めるよう、たとえば、一般的な話題の中で具体的な製品の話も入る構成にするなど、コメントと原稿修正を何度かやりとりさせていただきました。何度も修正に応じていただきました執筆者の方々には、大変感謝しております。また、各原稿の編集担当を分担していただいた教育WG主査の坂東宏和先生、斎藤俊則先生、お疲れ様でした。

それから、一般にはEdTechと表記されることが多いのですが、今回の特集でカタカナ表記にする際に、「エドテック」と「エデュテック」のどちらにするかを判断する必要がありました。どちらもよく使われており、元の発音に近い方を選ぶなら「エデュテック」でした。しかし、デジタル大辞泉、および朝日新聞、日経、アスキーなどのメディアのWebサイトでは「エドテック」が使われていたことから、こちらを採用しました。

いろいろな苦労がありましたが、新米編集委員としてはとても勉強になりました。この特集が読者の皆様の目に触れ、今後の教育におけるテクノロジー活用を考えるきっかけになれば幸いです。

（渡辺博芳／本特集エディタ）

この小特集の企画が持ち上がったのは、Live E! プロジェクトが毎月1回のペースで行っている全体会議でした。プロジェクト発足から10年が過ぎた今、何かまとまった形で成果を出したいという話が出ました。情報処理の編集委員として何年か携わってきた私は、今では編集委員は引退したものの、特集記事になりそうな面白い話題を絶えずリサーチするという編集委員経験者特有（?かどうかわかりませんが）の感性が働いて、「では、記事提案してみます!」ということになったわけです。毎年3月末には成果報告会というのを行っていたんですね。今年はその代わりに、10年分の成果報告を3月号に掲載できればと提案させていただいたところ、編集委員会のOKをいただき、執筆に入りました。今まで特集もいくつか担当して、原稿が来ないこともありましたが、今回は原稿

の上がりがあったので特にそういった苦労もなく、エディタとしてはありがたかったかなと思いました。

できあがった原稿を見ると、改めて、プロジェクトとして、かなり多くのそして大きな活動をしてきていること、ビッグデータ、環境、オープンデータ、データサイエンスなどについて、時代に先行していろいろな活動を行ってきたと感じています。メンバが自由に、自発的に「ないものは自分たちで作っていこう」という雰囲気があるプロジェクトで、その結果、環境に対していろいろな貢献ができていないのではないかと思います。

この小特集、読者の皆様に何か感じていただければ嬉しいです。

（高岡詠子／本小特集エディタ）

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	330,000円 (税込356,400円)	—	—
表3	275,000円 (税込297,000円)	—	—
表4	385,000円 (税込415,800円)	—	—
表2対向	300,000円 (税込324,000円)	—	—
表3対向	265,000円 (税込286,200円)	190,000円 (税込205,200円)	155,000円 (税込167,400円)
前付1頁	250,000円 (税込270,000円)	165,000円 (税込178,200円)	135,000円 (税込145,800円)
前付1/2頁	—	—	80,000円 (税込86,400円)
前付最終	—	—	148,000円 (税込159,840円)
目次前	—	—	148,000円 (税込159,840円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	275,000円 (税込297,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		
同封 (A判 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会  
 発行部数 20,000部  
 体裁 A4判  
 発行日 毎当月15日  
 申込締切 前月10日  
 原稿締切 前月20日  
 広告原稿 完全版下データ  
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm  
 1/2頁 天地125mm×左右180mm  
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27  
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

\*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。  
 \*同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」58巻3号 掲載広告（五十音順）

- インタフェース …………… 表2対向       とめ研究所 …………… 前付最終上  
 国立情報学研究所 …………… 表4       富士通 …………… 表2  
 産業技術大学院大学 …………… 前付最終下  
 すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ  
お名前 \_\_\_\_\_

勤務先 \_\_\_\_\_ 所属部署 \_\_\_\_\_

所在地 (〒 \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

TEL ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ FAX ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

ご専門の分野 \_\_\_\_\_



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



## 賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも  
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: [mem@ipsj.or.jp](mailto:mem@ipsj.or.jp) Tel.(03)3518-8370

### ●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

**HITACHI**  
Inspire the Next

(株) 日立製作所

**FUJITSU**

富士通 (株)

Orchestrating a brighter world

**NEC**

日本電気 (株)

**MITSUBISHI ELECTRIC**  
Changes for the Better

三菱電機 (株)

**CyberAgent.**

(株) サイバーエージェント

**IBM**

日本アイ・ビー・エム (株)

### ●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

**RECRUIT**

(株) リクルートホールディングス

**Google**

グーグル (株)

**docomo**

(株) NTT ドコモ

**TOSHIBA**

(株) 東芝

**NTT**

日本電信電話 (株)

**Microsoft**

日本マイクロソフト (株)

### ●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

**NTT DATA**

NTT データ (株)

**OKI**

沖電気工業 (株)

**GREE**

GREE (株)

**Rakuten**

楽天 (株)

**JISA**

情報サービス産業協会

**TREND MICRO**

トレンドマイクロ (株)

**NTTコムウェア**

NTT コムウェア (株)

**uejima**

(株) うえじま企画

**SANBI**

三美印刷 (株)

**SONY**

ソニー (株)

**Panasonic**

パナソニック (株)

**FORUM 8**  
フォーラムエイト

(株) フォーラムエイト

人と音楽の新しい関係をデザインする。  
**レコチョク**

(株) レコチョク